

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	政治学概論A (Survey of Political Science A)		
ナンバリングコード	K10901	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 前期
必修・選択区分	教職関係科目(必修): 高等学校教諭一種免許状(公民) 教職関係科目(選択): 中学校教諭一種免許状(社会)		
授業コード	K003801	クラス名	-
担当教員名	鄭 敬娥		
履修上の注意、履修条件	新聞やニュースなど、政治的争点および制度などに常に注目し、自分なりの考え方・疑問を整理して授業に臨む。□		
教科書	北山 俊哉・馬淵勝ほか編『はじめて出会う政治学 一構造改革の向うに』(有斐閣アルマ、2009年)		
参考文献及び指定図書	特になし		
関連科目	国際政治学、国際政治事情		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	政治学をより身近なものとして感じてもらう。そのために、政治の基本的な仕組みを理解し、日々の出来事を事例にしなが、政治的諸事象を把握する構造的な観点を獲得する。□
授業の概要	授業では、具体的な政治の仕組みを理解するために、官や民、企業など政治的アクターの行動原理およびその相互作用を理解する。それとともに、自らの周りにおける「政治的」事象に関して、その背景にある考え方、問題点、解決策などを報告してもらう。□
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング 該当なし
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	ディベートへの参加度など。	60点	20点	20点
【知識・理解】	政治の仕組みに関する理解、制度の歴史に関する知識の獲得に努め、自分なりに争点を整理できるようにする。			
【技能・表現・コミュニケーション】	あるテーマに関して各自プレゼンテーションを行い、授業の中で様々な意見を引き出し、整理できるようにする。			
【思考・判断・創造】	争点毎に自分なりの解決案を示せるようにする。			
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) 基本的な概念の理解度および引用元の提示など。 ディベートへの貢献度など。				

○その他
社会的事象のなかで、興味のあるテーマを選び、1～3人で報告を行う。それをもとに毎週20分～30分間議論する。

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画 科目名：政治学概論A (Survey of Political Science A) 担当教員：鄭 敬娥 授業コード：K003801	○授業計画 科目名：政治学概論A (Survey of Political Science A) 担当教員：鄭 敬娥 授業コード：K003801
学修内容	学修内容
1. 政治学とは	9. 国会
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)	予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)
2. 鉄の三角同盟	10. 内閣と総理大臣
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)	予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)
3. 多元的民主主義	11. 官僚
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)	予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)
4. 官と民の関係	12. 戦後日本の政治①
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)	予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)
5. 大企業と政治	13. 戦後日本の政治②
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)	予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)
6. 選挙と政治	14. 戦後日本の政治③
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)	予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)
7. 地方分権	15. 総括
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)	予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)
8. マスメディアと政治	16. 期末試験 定期試験
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)	予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)